

校長室より

別海高校NOWをご愛読の皆様、校長の織井です。今回は、高校での定期考査について記事をまとめさせていただきました。私も立場上、多くの中学校を訪問して生徒さんの前でお話したり、質問を受けたりする機会がありますが、高校は定期テストがあって赤点をとると留年だというのが皆さんの一番の心配事なんだなぁ～と感じています。

しかし、現在は定期テストの期間でテストを行う科目は少なくなり、単元ごとの確認テストをすることが多くなってきました。できなければ何回でも再テストを受験できるので頑張れば大丈夫です。テスト前の詰め込み学習ではなく、単元の目的や意義を理解した中で日々の授業を大切に、新たな知識や技術を身につけたことに喜びを感じられるようになれば理想です。赤点や留年や不合格にならないことだけを学びのモチベーションにする時代は終わらせていかなければなりません。



1年D組の弁当の日
生徒たちが自分でお弁当を作ってきて校長室で一緒にたべました。初めて卵焼きを焼いたという生徒もいましたがとても上手でした。

高校の考査について

令和6年度 前期中間考査時間割

授業科目名入り 2024/6/13 発行 確定

6月5日(水)										6月6日(木)										6月7日(金)									
1		2		3		4		5		1		2		3		4		5		1		2		3		4		5	
教科		教科		教科		教科		教科		教科		教科		教科		教科		教科		教科		教科		教科		教科		教科	
1年生	国文	1A	地基	1A	英Ⅱ	1A		情報	1A	数Ⅰ	1A	現国	1A		数A	1A	化基	1A		数A	1A	化基	1A						
	国文	1B	地基	1B	英Ⅱ	1B		情報	1B	数Ⅰ	1B	現国	1B		数A	1B	化基	1B											
	英語	1D	科学	1D	数Ⅱ	1D		現国	1D	普Ⅰ	1D	国文	1D		現国	1D	公共	1D											
2年生	世界史探	2A	地基	2A	数BC	2A		現国	2A	数表	2A	数Ⅱ	2A																
	化学	1B	地基	2B	数BC	2B		現国	2B	実英	2B	数Ⅱ	2B																
	情報処理	情報	1B	数BC	1B					簿記	3B																		
					簿記																								
	英語	2D	数Ⅰ	2D	国文	2D																							
3年生	古探	3A	数BC	3A	ソフ活	3A		財食	3A	現国	3A	地学探	3A		数探	3A	財食	3A											
	古探	3B	数BC	3B	英表	3B		文国	3B	現国	3B	数Ⅲ	3B		保基	3B	数表Ⅱ	3B											
	古探	3C	数BC	3C	英Ⅱ	3C		台探	3C	現国	3C	発展	3C		普Ⅱ	3C	英語	3C											
					実英	2B		化学	1B			地理探	1B		物理	1B													
								生物	2B						生物	2B													
	数A	3D	現国	3D	数Ⅲ	3D																							
3校時まで看護または授業。										3校時まで看護または授業。										3校時終了後に昼休み、5時間目まで授業。									

3校時まで考査または授業。

3校時まで考査または授業。

3校時終了後に昼休み、5時以降は授業。

※一連の演習が考査の実施時間となります

※白塗り(普通科)・空白(協賛科)は授業です。

※考査が実施されている時間帯の利用教室が通常の実施教室と異なる場合がありますので注意して教室を移動してください

実際に行われた、令和6年度前期中間考査の時間割です。

考査は、3日間で1日3科目程度となっています。この考査期間にテストをするかしないかは、教科によってまちまちですが、最近では、単元が終わるごとに確認テストをする教科が増えています。大昔は「テストの点数＝評価」という感じでしたが、現在は、3つの観点に基づき、単元テスト、レポート、アンケート、発言の内容や論理性、学びに向かう姿勢など多面的に評価し、その評価をさらに今後の学習につなげていくという仕組みになっています。

学習は、本来、新しい知識や技術が身につく、自分の可能性を見いだせる楽しいことのはずなのです。点数に一喜一憂せず、いろいろなことに興味関心を持ち、物事を深く考えながら、自分の長所をさらに伸ばすような学びを続けて欲しいと思います。

TEL: 0153-75-2053 (事務室)

0153-75-3349 (職員室)

FAX: 0153-75-2263

別海高校公式SNSです！フォローしてください



高校の考查と評価の仕組みについて

別海高校では、年に4回（6月・9月・11月・2月）の定期テストを実施しています。この定期テストでは、基本的な内容から発展的な内容まで幅広く出題され、試験時間50分間の中で解答をします。

このテストの点数や、日常の取り組み（授業の取組や発表、課題、振り返り等）などを総合的に評価して、10～1までの10段階評価と学年末に5～1までの5段階評定がつけます。

評価・評定で1がついてしまうとその科目を修めたとは認められず、各学年で決まっている科目を修めなければ、進級や卒業ができないというのが高校の仕組みです。

（文責：教務主任 田村）

酪農経営科の新たな取り組み

酪農経営科では、よりリアルな学びを目指して「高校生が経営する育成牧場」というのを企画しています。全くの手探りでうまくいくかどうかはわかりませんが、酪農後継者を育てる会や学校運営協議会などで意見を伺ったところ「おもしろいから是非やってみろ」という声を多数いただき、現在、企画準備中です。今後の動きは逐一ご報告したいと思っていますし、一緒にやりたいという中学生が別海高校の酪農経営科に入学してくれたらとてもうれしいです。

酪農経営科の新たな取組 テーマ「高校生が経営する牧場構想の実現」

牧場の概要

すべてを生徒主体でおこなう



簡易牛舎の設計と建築
社長：3年生 社員：1・2年生
期間：離乳後～13ヶ月齢まで
頭数：5頭程度から

牛の買い付け

日常の管理

経理管理

様々な企業等と連携・協力（予定）
別海町、農協、普及センター
酪農後継者を育てる会、森林組合
など

中学生からの質問募集コーナー

別海高校NOWで高校生活に関する疑問や取り上げて欲しい話題をほしい記事の募集しています。こんなことが知りたい！別海高校のこんなところが気になっています！などありましたら、是非お寄せください。

ご要望はこちらから→→→

